

多文化共生社会で活躍する日本語講師

門真市公民館では、

毎週火曜日、日本語教室が開催されている。

教室の運営をサポートするのは、日本語教育と多文化共生の推進をめざす任意団体

kotoba。大阪府

教育庁の地域日本語教育コーディネーターなどを務めてきた松藤昌代さんが中心となり、昨年12月に設立された団体だ。公民館の運営を担う指定管理者であるトイボックスと連携して、門真市での日本語教育の充実に取り組んでいる。

11月16日の夜、仕事帰りの外国人学習者が



仕事帰り、夜1時間半の濃密な授業

教室にやってきて、複数の講師のサポートで日本語を学んでいた。テキストは大阪府教育庁が作成したものを使っているが、たくさんのお話を、日本語の表現を学ぶとともに、日本の文化や習慣への理解も深めていく。1時間半の教室は学習者と講師たちとの濃密で楽しい交流の時間でも

あるようだった。

kotobaは、外国人労働者や外国につながる子どもたちに対する日本語教育や学習支援、ボランティア人材の育成、多文化交流機会の創出などに取り組み NPO 法人の取得を目指しているという。共同代表の松藤さんは、「私は、外国につながる人たちへの日本語教育や支援をしてきて、人とつながる喜びを感じてきました。多文化共生に興味のある方、それぞれの得意な場面で力をお貸しください。一緒に活動しましょう」と呼びかけている。